

台湾のスタートアップ・ エコシステムの現状

オンライン所員研究会

2024. 1/15 (月)

14:00 - 15:30

主催

公益財団法人アジア成長研究所

(北九州市小倉北区大手町11-4 ムーブ6階)

【参加料】無料 【使用言語】報告・資料ともに日本語

報告者

岸本 千佳司

(公財)アジア成長研究所 准教授



講演概要

本研究は、起業家/スタートアップを生み出し成長を促す国・地域の土壌を「スタートアップ・エコシステム」として捉え、台湾の事例分析を通して、そのシステムとしての全体像を把握することを目的とする。本研究の分析枠組みでは、エコシステムを「起業家/スタートアップ」と「支援アクター」という2つのセグメントに大別する。健全なエコシステムでは、「起業家/スタートアップ」セグメントは、「起業家/スタートアップが成長し、その起業家チームの一部がメンターやエンジェルとなり後輩起業家を支援する、もしくは連続起業家として再度事業に挑戦する」という正の循環(小循環)を通して発展していく。(つづきは裏面へ)



オンライン(ZOOM)で開催いたします。

※インターネット環境とPCやスマートフォン、タブレットが必要です。

【お申し込み】① 電子申請: <https://forms.gle/WiUKAh7g55VAZSAK9>

② メール申込み:メールにて、氏名・所属・電話番号をoffice@agi.or.jpへ送信してください。

①②とも、前日までにご参加用URLをメールでお送りします。(申込〆切:1/12(金))



講演概要 (前面つづき)

また「支援アクター」内の構成要素、すなわち大学/研究機関、成熟企業(特に大企業)、資金提供者(ベンチャーキャピタル等)、その他支援アクター(本研究ではアクセラレータに注目)は、各々の立場から起業家/スタートアップを支援し各種リソースの提供を行う。逆に、スタートアップが成功した際は、支援アクターに色々な形での見返りがある(投資収益、事業・技術の補完等)。この循環(大循環)が回り続けることでエコシステム全体が存続・成長していくと想定する。加えて、政府の政策の影響も考慮する。本研究では、台湾の事例に即して、これらの要素・メカニズムを分析し、エコシステムとしての特徴や発展状況を明らかにしていく。